

製品事故も
不祥事も
なんでも
かんでも

明治乳業さん、これでいいの？

異議なし！了解！



消費者にも株主にも

背をむけた株主総会

「食の安全」に対する不祥事、不正行為が続き不信感がつのる中開かれた、明治乳業第百二十期株主総会。総会には、長期労働争議の早期解決、「食の安全・安心」と相次ぐ不祥事、国内酪農の危機打開など四十項目を超える事前質問書が株主六十四名の連名で提出されていました。経営陣はこれらの質問にまともに答えようとはせず、はぐらかしの答弁に終始しました。株主や消費者・国民に背をむける不誠実な対応は許されるものではありません。

どこへ行った？

赤さび混入疑惑の
百五十九万本の牛乳

四月に発生した明治乳業関西工場（大阪府貝塚市）製造の百五十九万本もの「赤さび混入牛乳」回収事件についても事前質問書で何本回収できたのか等、詳細にわたって質問しました。しかし回答は木で鼻をくくったような回答で、何本回収したのかも答えません。消費者・国民に謝罪する言葉の一片もありません。それどころか「健康被害の申し出はありません」と開き直る始末。「異物混入」に対する何の反省もない経営陣の態度にはあきれ果ててしまいます。これでは消費者・国民が求める「食の安全・安心」に應えることは出来ません。

これが
明治乳業の
常識？

「リヨウ
カスイイ」と拍手

動員された社員株主が株主総会会場の前列に陣取って、社長や経営陣の答弁のたび、「一斉」「了解・異議なし」コールを繰り返して、拍手をする「演出」は出席者の失笑をかっていました。不祥事事件の不誠実な答弁にも「リヨウカスイイ」コールと拍手。これが明治乳業の常識なのでしょうか？

多くの株主が発言を求めている中、元管理職OBに、動議を出せば、質問を打ち切るなど、非民主的総会運営に怒りの声が上がりました。

明治乳業は長期争議を解決し、「食の安全・安心」に責任を果たせ！